

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	①女性が働きやすい環境づくり
			施策の小項目名	○ひとり親家庭の自立に向けた支援
主な取組	就労支援と子どもへの学習支援		対応する成果指標	女性の離職率
施策の方向	・ひとり親に対する支援については、自立した生活に向けて、座学研修と職業研修を組み合わせた就職支援や、就労支援と子どもへの学習支援など家庭の状況に応じた総合的な支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
ひとり親家庭の就労や生活基盤の安定を図るため、ひとり親に対し技能習得の支援を行うとともに、受講中の一時預かり等の子育て支援を行う。	県	ひとり親家庭技能習得支援、講座受講中の子どもの一時預かりおよび学習支援		
		支援対象世帯数(累計)		
		100世帯	100世帯(200世帯)	100世帯(300世帯)
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/kosodate/1008226/1008243/1028579.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業		予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業	
主な財源		実施方法		R7年度			
一括交付金 (ソフト)		委託		当初予算額			
57, 625		60, 948		50, 158			
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の子どもの一時預かりを行った。				経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の子どもの一時預かりを行う。			

活動指標名	支援対象世帯数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ひとり親家庭の母等に家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ適切な就業相談を実施。また、就業に必要な知識や技能の習得を図るための就業支援講習会を実施した。
	108世帯	100世帯(208世帯)	77世帯	100世帯 (300世帯)	77. 0%	概ね順調	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
仕事と子育てをひとりで担う親でも、継続的に受講できるよう、振替制のカリキュラムを構築したほか、受講生個々人のキャリアカウンセリングを実施する等、支援体制を強化したことにより計画値を達成した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度の取組改善案				反映状況			
令和6年度も引き続き上級コースで簿記2級講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援を強化する。				令和6年度においても上級コースで簿記2級講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援の強化を行った。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	令和 5 年度より、就労環境の改善に役立つ資格取得を促進し、更なるスキルアップに繋がるよう上級コースで簿記 2 級の講座を実施しており、全国平均合格率を上回る結果となった。	① 執行体制の改善	令和 7 年度も引き続き上級コースで簿記 2 級講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援を強化する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	②男女の機会均等と待遇改善
			施策の小項目名	○女性労働者の賃金・雇用管理の改善
主な取組	女性のチカラ応援宣言の実施		対応する成果指標	男性の給与を100としたときの女性の給与
施策の方向	・性別を理由とする賃金格差、ハラスメント及び高い非正規雇用率など、男性と比べて不利益を受けやすい立場にある女性労働者の労働環境を整備するため、賃金・雇用管理を改善するとともに、男女間の固定的な役割分担意識等により生じている格差の解消に向けて、女性の管理職登用の拡大等を促進することにより、女性の雇用の質の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
女性の雇用の質の向上に向け、様々な分野のリーダーによる「女性のチカラ応援宣言」を実施する。	県	様々な分野のリーダーによる「女性のチカラ応援宣言」の実施		
		応援宣言実施者数(累計)		
		10人	10人(20人)	10人(30人)
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/danjo/1021609/1027355/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			女性力推進事業費			予算事業名		女性力推進事業費	
主な財源		実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
						主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		委託	14,668の一部	13,431の一部		県単等		委託	13,560の一部
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
県内企業や様々な業種のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”を行ってもらう。						県内企業や様々な業種のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”を行ってもらう。			

活動指標名	応援宣言実施者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	24人	33人(57人)	26人	10人（30人）	100.0%	順調	様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限に発揮するため、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場で活躍できる人材を育てる取組を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

“Womanちゅ応援宣言”の普及と女性活躍の更なる機運醸成のため、啓発イベントを実施し、女性活躍推進に対する理解を促進した。また、県内企業や様々な業種のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”を行ってもらい、組織や社会の意識改革のきっかけになった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○ 様々な分野のリーダーが女性を後押しする宣言を行い、これを周知することで、組織内の改革が促進し意識啓発につながる。 ○ “Womanちゅ応援宣言”が任意であることから、積極的な周知広報を行う。	様々な分野のリーダーに女性活躍推進を促すような宣言を行ってもらい、県HPや啓発イベントにおいて周知したことで、“Womanちゅ応援宣言”のさらなる普及を促進したと共に、組織内の改革の促進及び意識啓発につなげた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	近年、子育て期の女性を含め、女性の就業率が大幅に増加していることから、就業を継続するだけでなく、実力をつけて成長し、それを公平に評価され活躍できる環境づくりが必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	様々な分野のリーダーが女性活躍推進を促すような宣言の実施及び周知をすることで、社会や組織内の改革を促進し、意識啓発につなげる。
① 県の制度、執行体制（内部要因）	“Womanちゅ応援宣言” が任意であることから、積極的な周知広報が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県HPやSNSの活用、啓発イベント等を実施し、積極的な周知・広報をする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	③女性が働き続けられるための意識啓発等の促進
			施策の小項目名	○女性が働き続けられる職場環境の整備
主な取組	男性向け講座等の実施		対応する成果指標	女性の平均勤続年数
施策の方向	・女性が働き続けられる職場環境の整備については、セミナーの開催等により、事業主、従業員双方の意識を啓発し、女性リーダーの育成を促進することに加え、男性の育児休業取得促進や女性の職業継続を支援する意欲のある企業が自主的な取組を行えるよう「女性が働き続けられる職場づくり支援プログラム」の普及・啓発に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
男性の家事・育児参画に関する広報や、育児休業取得の促進に関する啓発活動等を実施する。	県	男女共同参画や、男性の育児休業取得の促進等に関する啓発講座等の実施		
		啓発講座等の実施回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	女性力推進事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	17,314の一部	16,238の一部

予算事業名	女性力推進事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	12,235の一部

令和6年度活動内容

男性の家事・育児参画に資する広報や啓発活動等を実施する。

令和7年度活動計画

男性の家事・育児参画に資する広報や啓発活動等を実施する。

活動指標名	啓発講座等の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	4回	3回（7回）	3回（10回）	2回（6回）	100.0%	順調	男性の育休取得に関する講演会、育児体験のワークショップ、『パパ育休取得応援ハンドブック』の作成。 「ていある塾」で男性の家事・育児参画講座を2回開催。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「男性のチカラ向上応援業務」で男性の育休取得に関する講演会を開催し、男性の育休取得に係る体験談の共有・各種制度の周知を行った。また当該講演会に関する記事を新聞に掲載した他、ラジオでジェンダー平等について放送することで県民へ広く普及啓発することができた。併せて幅広い年代を対象とした『パパ育休取得応援ハンドブック』を作成し、育休制度や体験談の啓発に努めた。

様式 1 （主な取組）

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度 of 取組改善案	反映状況
○ 男性の育児休業を積極的に採用・促進している企業や団体等の好事例を調査・比較し、多種多様な事情に応用できるものなのか検討する。 ○ 固定的性別役割分担意識の解消に向けた講座・学習機会の提供や、様々な角度から女性の出産、育児に伴う負担軽減に向けた男性の育児休業取得推進に係る意識啓発に取り組む。	○ 引き続き検討する。 ○ 固定的性別役割分担意識の解消に向けた講座・学習機会の提供を行うことができ、また、男性の育児休業取得推進に係る意識啓発に取り組むことができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	女性に比べ男性の育児休業の取得率が依然と低い。	⑤ 情報発信等の強化・改善	固定的性別役割分担意識の解消に向けた講座・学習機会の提供や、様々な角度から女性の出産、育児に伴う負担軽減に向けた男性の育児休業取得推進に係る意識啓発に取り組む。